

# HAKUYU

はくゆう

特集

未来をちよつと覗いてみたら、  
福祉が意外とおもしろかった？！



Model: 泳ぐペンギン  
Photo: I.Eさん



## 05 夏を乗り切る！ ひんやりスイーツ・フルーツポンチ

透鹿園管理栄養士監修

### 材料 (6人分)

|          |      |      |       |
|----------|------|------|-------|
| 白玉粉      | 100g | すいか  | お好きな量 |
| 絹ごし豆腐    | 100g | りんご  | お好きな量 |
| みかん缶     | 1缶   | サイダー | 200ml |
| みかん缶シロップ | 50ml |      |       |

### 作り方

- ①白玉粉に絹ごし豆腐を加えて耳たぶくらいの硬さになるまでこねます。(固い場合は少し水を加えてください)
- ②白玉団子を2cm程度に丸め平たく伸ばします。
- ③鍋にお湯を沸かし②を茹でます。浮き上がってきたら氷水に入れて冷やします。
- ④果物はお好みの大きさに切ります。
- ⑤みかん缶のシロップ50mlとサイダーをボウルに入れ白玉・フルーツをいれて完成です。

季節の果物や白玉の  
形を星型にするなど  
アレンジしてみてください

### スイカのこぼれ話

夏に食べるとおいしいスイカ。実は栄養素もいっぱい！  
スイカは約90%が水分で熱い夏の水分補給にピッタリの果物です。また、カリウムやリコピンなども含まれておりむくみや肌のシミやしわの予防にも効果があります！  
旬の果物は栄養価も高くおいしくなります！スイカを食べて夏を乗り切りましょう！！

## 表紙写真大募集

広報誌「はくゆう」の表紙写真を募集します！  
博由社で働く職員の皆さんはもちろん、利用者様、ご家族様、地域の皆様どなたでも応募頂けます。  
採用となった方には粗品をプレゼント♪  
詳しい応募方法はHP「広報」ページをご覧ください。  
みなさまからのご応募お待ちしております。

応募詳細ページはコチラ



## あとがき

いつまでも寒いな、なんて思っていたら、いつの間にか暑くなってきていましたね。

夏といえば、海。海といえば、日焼け、砂まみれ、そして毎年「泳ぐより食べる派」が圧勝するBBQ大会……。

今年こそは理想の夏を！と毎年思いつつ、気づけばクーラーの前でアイスを食べて終わるのが現実ですが、それもまた夏の醍醐味ということ。。  
最後までお読みいただきありがとうございます。

## 発行

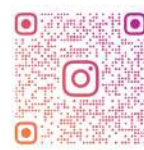
社会福祉法人 博由社

〒674-0051  
明石市大久保町大窪2573-16  
TEL: 078-934-9161  
<https://hakuyusha.or.jp/>

## HP・SNS



法人HP



Instagram



## 「忠恕」ということ。

「HAKUYU」夏号の巻頭あいさつ文を考えている頃、季節は「梅雨」。しかし、梅雨前線は日本列島の上から消えて無くなっており、猛暑が続いています。皆さま、「熱中症」には十分留意してください。

さて、令和7年度が始まり、早3か月が経とうとしています。新たに当法人に入職された皆さんはもう職場に慣れましたか。日々、新たな体験の繰り返しだと思いますが、一步一步、自分自身の理想像に近づいて行って下さい。

さて、当法人をご支援いただいている皆さまは既によくご存じの通り、社会福祉法人博由社の「基本理念」は「忠恕」（チュウジョ）です。これは、「自分の良心に忠実であることと、人への深い思いやりを持つこと」を表す言葉です。この「忠恕」という言葉は、孔子の「論語」によく使われています。「夫子（フウシ）の道は忠恕（チュウジョ）のみ。」これは、「先生（＝孔子）の説かれる道は、忠恕、即ち誠実と思いやりだけです。」という意味です。当法人では、まごころと思ひやりをもって、障害のある方々、高齢の方々を支援していますが、「自分は「忠恕」ということを本で行っているのか。」と疑問に思うこともあります。儒教における「四書」の一つである中庸には「忠恕違レ道不レ遠人」（忠恕は道を違（さ）ること遠からず）とあります。「真心を尽くして思いやることは、人の道を遠く離れているものではない。忠恕が人の践（ふ）み行うべき道として、誠に身近で実践しやすい方法である。」としています。「忠恕」は私たちの日々の暮らしの身近な実践の中にあります。どうか、皆さま、私も含め、このことを十分認識し、様々なことに取り組んでいただけたらと思います。

最後に、今回の「ごあいさつ」は少し固くなりました。今年も暑い夏がやってきました。皆さまにおかれましては、十分、体調管理にご留意いただき、素晴らしい夏にしてください。

社会福祉法人 博 由 社  
理事長 柏 由 紀 夫



#01 ごあいさつ

#02 夏号特集

#03 職員インタビュー

#05 PHOTO DAIARY

#07 活動NEWS

#09 ○○が教える！

#10 施設探訪

# # 夏のレシピ

HAKUYU

#01 ごあいさつ



2025 Summer  
Internship



未来を覗く！

## インターンで味わえる4つのリアル！



### 1. その人らしさを大切にする

利用者一人ひとりに合わせた対応の仕方を学べるのが福祉の現場。マニュアルにはない、“その人らしさ”を尊重する支援の姿勢が体感できます。



支援に触れる！



### 2. 介助やレクリエーションのサポート



日常のサポートや一緒に行う活動を通じて、福祉のやりがいを実感。職員の工夫やチームワークも間近で見られます。

“支える”を学ぶ！



### 3. チームケアの裏側見学

介護士・看護師・相談員・リハビリスタッフなど、さまざまな職種が連携する福祉の現場。仕事の幅広さを体感できます。



多職種連携に触れる！



### 4. 「安心づくり」を見る・感じる

何気ない日常の中にも、安心・安全のための工夫がたくさん。環境づくり、声かけ、ルールの意味など、施設運営の視点にも触れることができます。



日常の中にある！

インターンシップについてのご質問・ご相談は、いつでも大歓迎です！お気軽にご連絡ください。申込はQRコードより申込むか、電話・メールにて受け付けております。  
▼申し込み先  
社会福祉法人博由社法人事務局 採用担当：堀  
TEL：078-934-9161 Mail：hakuyu-08@wine.ocn.ne.jp



#02 夏号特集

介護の現場で長年働き続けるベテラン職員と、入職して間もない新人職員。年齢も経験も異なる二人は、日々どんなことを感じ、何を大切にして働いているのかインタビューをしました。

**出合いは、直感。アットホームな空気に惹かれて**

**堀** まずは、お二人の入職の経緯について教えてください。

**橘田** 入職したのは20歳のときなので、今年で13年目です。当時、専門学校に通っていて、ボランティアで今の施設に訪れたことがきっかけでした。そのときに、「職員さんたちがすごく穏やかで優しい」「雰囲気がいいな」と思って。直感的に「ここなら長く続けられるかも」と感じました。

**堀** 谷村さんは、入職して1年が過ぎたところですね。

**谷村** はい。僕は、ドラッグストアでアルバイトをしていたんですが、就職するにあたって「このままでいいのかな」と思っていたんです。そんなとき、母から「介護施設の見学制度があるよ」と教えてもらって。「家から近いし、とりあえず行ってみよう」くらいの気持ちで見学に来ました。

**堀** 見学してみてどうでした？

**谷村** 本当にアットホームな雰囲気で、自然と「ここで働いてみたい」と思えたんです。

しかも、なんと職員の中に自分とそっくりな人がいて（笑）。周りも「そっくり！」って言ってました。その人を見て、なんでか、「自分にもできるかも」と思ったんです。

**堀** お二人は最初から介護業界を目指していたんですか？

**橘田** 私はもともと、保育士を目指していました。ですが、高校3年の時に祖父が入院したんです。家族が介護している姿を見て、「自分には何もできない」とすごく悔しい思いをしたんです。それが転機でした。そこから「自分にも何かできるようになりたい」と思って、福祉系の専門学校に進学しました。

**谷村** 僕は、以前おじいちゃんがぎっくり腰になったときに、介助をしたことがあるんです。そのとき親戚から「介護の仕事、向いてるんちゃう？」って言われて（笑）。それで少し自信もついた感じなんです。

**堀** 福祉の仕事で、排泄介助がいやだという声を聞きますが、抵抗はありませんでしたか？

**橘田** 最初は緊張しましたが、抵抗というより「必要なことをやってる」という感覚が強かったですね。どちらかというと、その人の人生を支えている、という気持ちの方が大きくて。

**谷村** 僕はもともと潔癖症とかではなかったのですが、見学の時点で「これなら自分もやれるかな」と思っていました。

**自分らしさ、を大切にできる職場**

**堀** ここはどんな職場ですか？

**橘田** 自分のキャラクターを大事にしなから働ける職場なので、自然体でいられます。人って、無理していると続かないじゃないですか。ここはそれがいい。利用者さんとも、心からの笑顔で接することができると。



左：橘田 右：谷村

**谷村** 僕も感じています。もちろん大変なことも多いですけど、職員の方がみんな優しく話しやすい。堅苦しくなくて、冗談も言い合える関係性ってありがたいです。

**ショートステイの現場で感じる難しさと成長**

**堀** 谷村さんは現在、ショートステイのフロアに配属されていますよね。

**谷村** はい。ショートステイは、毎日利用者さんが入れ替わるので、覚えることが本当に多いです。ある先輩が、短期利用の方でも全員の名前と顔をしっかり覚えていて、次に来られたときにも自然に「〇〇さん、こんにちは！」と声をかけていたんです。その姿が本当にかっこよくて、「僕もあんな先輩になりたい」と思いました。

**橘田** 確かに、ショートは特養と違って、どちらかというと、接客に近い部分がありますね。ホテル業に近いとか、毎回初めての方にどう接するか、という視点が大事。だからこそ、一つひとつの言葉や態度が印象につながるんですよね。

**利用者とのやりとりがくれる、原動力、堀** やりがいを感じる瞬間はどんなときですか？

**谷村** 節分のときに鬼役をやったんですけど、仮面をかぶっていても、利用者さんたちが笑顔で豆を投げてくれて。ああいう時間は、こちらもうすごく楽しくて、やっていてよかったなって思いました。これから2年目に入って、イベントを任せてもらえる機会も増えると思うので、そういう場面も楽しみながら関わっていききたいです。

**これからの目標——変わらない「想い」を胸に**

**堀** 最後に、お互いの印象や、これからの目標について教えてください。

**谷村** 橘田さんはとても話しやすい先輩で、困ったときにも気軽に相談できる存在です。僕も、後輩にとってそういう存在になれるように、これからもっと経験を積んでいきたいです。

**橘田** 谷村くんは、わからないことがあればちゃんと聞いてくれるし、自分で考えて行動しようとする姿勢がとってもいいなと思っています。これからも一緒に頑張っていきたいです。



特別養護老人ホーム ハッピータウンKOBE  
神戸市灘区摩耶海岸通2-3-9  
TEL:078-803-3609

# HAKUYUSHA PHOTODIARY

博由社の日常をお届け。



博由園  
博由園で楽しいBBQ大会！笑顔あふれる素敵なひとときでした🌟



施設前で記念撮影のコース



透鹿園



つつじ園

強い日差しの中でのじゃがいも掘り🍷  
ひと休みしながら、自然の中で過ごす心地よい時間でした🌿  
収穫の喜びと、ほっとするひとときを感じられた一日。



ハッピータウンKOBE  
日常をちょっとのぞきみ👁️  
歌って、作って、笑って...  
みなさんとっても楽しそうです🌟



ハビネスさつま  
みんなでお散歩🌿綺麗な藤棚にうっとり...  
紫のカーテンが風にゆれて、とっても癒されました💜



透鹿園  
「季節に合わせたお風呂が味わえる🌸  
今日は何風呂かな？🛀  
ほっこり、ちょっとした楽しみ🍁」



ハビネスさつま  
青空の下でテラスピクニック🌞  
広々としたお庭でほっこり💚



博由園  
外出イベント👉  
みんなで食べるアイスは別格のおいしさ🌟



ハッピータウンKOBE  
今日も元気に勝負開始！  
楽しみながら脳トレ中です🧠🎲



かわいいのぼり🌟



つつじ園  
職員と利用者さんと公園清掃をしました🌱  
みんなで協力していい汗かいて、公園もピカピカに🌟  
「きれいになるって気持ちいいですね！」🌈🌿



博由園

# ACTIVITY NEWS 3

## 玉入れやオセロで大盛り上がり！ ばんたん親善運動会へ参加



5月30日、加古川運動公園陸上競技場にて「ばんたん親善運動会」が盛大に開催され、ハピネスさつまの利用者さんも元気いっぱい参加しました。当日は晴天に恵まれ、爽やかな風が吹く中、開会式で緊張しながらもプラカードを堂々と持っていました。競技では、玉入れとオセロゲームに出場。玉入れではゴールとなるかごに向かって玉を必死に投げ込み、次々に玉が入るたび歓声が上がり、大きな盛り上がりを見せました。

またオセロゲームでは、カードをめくっては必死に自分たちの色にひっくり返し、仲間と声を掛け合いながら最後まで真剣な表情で取り組む様子が印象的でした。

終始、晴れやかな笑顔があふれた一日となり、スタッフにとっても心に残る行事となりました。これからもこうした地域との交流を大切にし、利用者さんののびのびと笑顔で過ごせる機会を増やしていきたいと思ひます。

## 感染予防研修を開催 実技を交えて



博由園で「感染予防研修」を開催しました。日頃から感染症対策の重要性は広く認識されていますが、改めて正しい知識を確認し、万一に備えるための行動を再確認する場として実施しました。今回は講義形式だけでなく、手指消毒や感染者の汚物処理の方法など、実技を交えて学習を行いました。職員同士で手順を確認しながら実際に試すことで、普段の業務の中での疑問点や曖昧だった部分を解消する良い機会となりました。今後も定期的に研修や訓練を実施し、職員一人ひとりが安全・安心を守る行動を継続できるよう努めてまいります。

## 神戸ストークスとパートナー契約 新たなつながりで笑顔を広げます

このたび、私たち社会福祉法人博由社は、B.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「神戸ストークス」とパートナーシップ契約を締結いたしました！神戸ストークスは、地域に根ざした活動を大切に、子どもから大人まで幅広い世代にスポーツの魅力を発信し続けているチームです。こうしたチームと手を取り合うことで、法人としてもスポーツを通じた地域貢献や、職員の皆さんがよりいきいきと働ける環境づくりにつなげたいと考えています。今後は、職員の方々に神戸ストークスのホームゲームを観戦していただいたり、施設イベントにストークスのマスコットキャラクターやスタッフをお招きし、一緒に楽しめる機会を計画しています。こうした取り組みを通じて、スポーツならではのワクワク感や一体感を職員の皆さんや地域の方々と共有し、日々の活力にしていだければ幸いです。今後の取り組みに、ぜひご期待ください。そして、私たちと一緒に神戸ストークスを応援しましょう！

# GO!GO!STORKS!

## 施設全体で取り組む5S活動

博由園では当初、働く環境委員会のメンバーだけで、5S活動に取り組んできました。しかし、「一部の人だけでは限界がある」「職場全体で考えよう」という声があがり、5S活動が開始された翌年度から各部門ごとに5Sの担当場所を設定し、それぞれが改善に取り組む新たなスタイルをスタートしました。

### 各部門が“自分たちの場所”を担当！

通所・入所・医療・総務など、すべての部門がそれぞれの持ち場について、「何が使いつらいか」、「どこが散らかりやすいか」、「どうすればもっと働きやすくなるか」といったことを話し合い、自分たちで課題を見つけ、改善に取り組む動きが広がっています。

### 一人ひとりの気づきが大きな力に

こうした活動のなかで、「ちょっとした不便」や「いつも気になっていたこと」が可視化され、これまで委員だけでは気づけなかった部分にも手が届くようになりました。また、現場の声から出たアイデアだからこそ、実用的で継続しやすい工夫が多く、現場に根づいてきています。

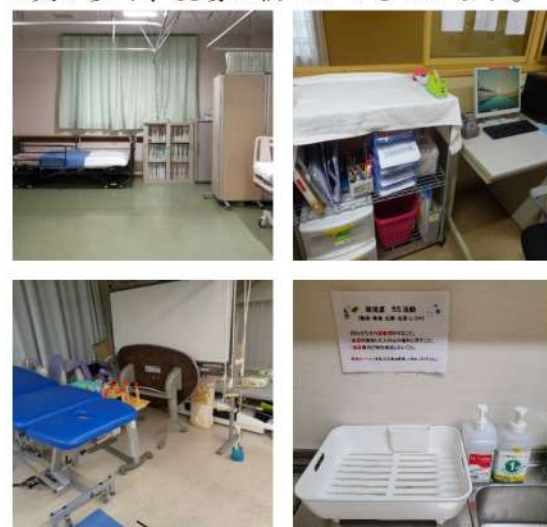


写真  
左上：通所課改善箇所  
右上：入所課改善箇所  
左下：医療課改善箇所  
右下：総務課改善箇所

### 施設全体の“共通意識”へ

このように5S活動が各部門に広がったことで、今では「自分たちの仕事場を自分たちで良くしていこう」という意識が高まり、職員全体に“施設全体で取り組むべき課題”として5Sを捉える意識が浸透してきています。

### 今後に向けて

今後も、各部門での取り組みを共有し合いながら、「見て気持ちがよく、働いて気持ちのよい職場」を目指して活動を続けていきます。一人ひとりの気づきと行動が、施設全体の質の向上につながる。そんな5Sの輪を、これからも広がっていきます！

## 基本理念の

オハナシ<sup>#3</sup>

他法人から転職し、ハピネスさつまに配属されてまず印象に残ったのは、職員同士がすれ違うたびに交わす「お疲れ様です」という挨拶でした。この一言が自然に飛び交う職場は、思いやりのある声かけや気配りが日常に根付いており、働いていてストレスを感じにくいと実感しています。以前の職場では軽い会釈で済まされることも多かったため、この「言葉にする挨拶」の力を強く感じています。今では自分も積極的に声をかけ、新しく入ってきた職員にも自然と広がっています。また、利用者様の受診時など、職員の休憩調整をさりげなく行っている姿を見て「自分も手伝おう」と思える環境も、この施設ならではの姿だと思います。思いやりが連鎖する職場で働けることに感謝し、今後も「忠恕（ちゅうじょ）」の心を大切にしていきたいと思ひます。

ハピネスさつま施設長 山本

## 役職者研修を開催

一般社団法人兵庫県介護福祉士会の常務理事である安達眞理子氏を講師にお迎えし、役職者研修を開催しました。研修では、部下の育成方法や目標設定のポイントについて学びました。安達氏は「部下一人ひとりの強みを理解し、具体的で達成可能な目標を設定することが重要」と強調。参加者は、部下に寄り添いながら指導する方法や、チームのモチベーションを高めるコミュニケーションの工夫について具体的なアドバイスを受けました。今後もこのような研修を通じて、職員のスキルアップと職場環境の向上に努めてまいります。

## ご家族と笑顔のひとときを — 昼食会を開催しました



写真  
左：透鹿園 中：透鹿園 右：ハッピータウンKOBÉ

このたび、特別養護老人ホーム「透鹿園」と「ハッピータウンKOBÉ」では、ご利用様のご家族様を招いての昼食会を開催いたしました。コロナ禍を経て、久しぶりに施設内でご家族とゆっくり過ごしていただける機会となり、施設全体に温かい笑顔が広がりました。当日は、職員が心を込めて準備したお食事を囲みながら、和やかに会話を楽しまれている様子が印象的で、「久しぶりに一緒に食事ができて嬉しい」との声が寄せられました。ご利用者様にとっては、大切な家族と過ごす穏やかな時間が日常の励みとなり、大切な時間となっています。今後もこうした交流の場を大切にしながら、施設がご家族との「つながり」を感じられる場所であり続けるよう努めてまいります。

# 「障害福祉のサービスって どうやって受けるの？」

LIFE SUPPORT COLUMN

## 02 「障害福祉サービス受給者証」の取得



認定調査の結果と相談支援専門員がたてた計画案をもとに支給決定を受け、障害福祉サービス受給者証の取得をします。

## 03 サービス等利用計画の作成

どういった支援が必要か？を一緒に考える計画書を、相談支援専門員と一緒に作成します。



## 04 サービス利用スタート

生活介護、居宅介護、入所支援、就労支援など、あなたに合った支援が始まります。



## 01 まずは「相談」

まずはお住まいの市区町村の障害福祉担当窓口や、地域の障害者相談支援センターに相談します。どんなサービスを利用したいか、困っていることなどを伝え、情報収集やアドバイスを受けましょう。



### サービス利用の流れ

- 相談・申請
- ↓
- 認定調査
- ↓
- サービス利用者の意向聴取
- ↓
- 計画の作成
- ↓
- 計画に基づいて支給量の決定（受給者証の発行）
- ↓
- サービス等利用計画の作成
- ↓
- 事業所の見学・契約
- ↓
- サービスの利用開始

相談支援専門員は、あなたのそばにいます。  
ひとりで抱えず、いつでもご相談ください。



障害者支援施設 博由園  
〒674-0051  
明石市大久保町大窪2573-16  
☎ 078-936-7335



体と頭を動かす支援で

笑顔が広がる施設を目指して！

広報委員が行く施設探訪 VOL.7

# HAPPINESS SATSUMA

障害者支援施設 ハピネスさつま

ハピネスさつまでは、利用者様一人ひとりが心も体も健やかに過ごせるよう、「楽しみながら動く」支援に取り組んでいます。こうした支援を通じて、自然と笑顔がこぼれる場面が増えてきました。今回は、そんな取り組みの一部をご紹介します。



Use my body

跳んで・跳ねて  
ユラユラ揺れて！

トランポリン活動では、跳んだり揺れたりする動きの中で、体のバランスをとる力や姿勢を保つ力が自然と引き出されていきます。楽しさと体づくりの両方を兼ねた“体を動かす支援”として、新たに取り入れました。

バスケットボールと  
サッカーボールが  
新たな仲間！！



Use my body

体を動かし、  
心も元気に！  
朝の散歩が楽しく  
一日のスタート

朝の散歩は、体を動かすことによるリズム感や心身の覚醒を促し、利用者様にとって一日のスタートを元気に切るための大切な支援活動です。外の景色や自然を感じながら、身体機能の向上と共に、心地よい運動が心にも良い影響を与えています。



Use my brain

職員お手製の支援道具  
色を入れて・形を合わせて・型にはめて！

職員の手作り玩具を使った活動では、「どうやって動かそう？」「どうやって入れようかな？」といった“考える”楽しさが自然に引き出されます。身近な素材で工夫した玩具だからこそ、利用者様のペースに合わせた関わりができ、頭や指先を動かすきっかけにつながっています。

Use my body  
Use my brain

リズムに乗って、動いて！  
音楽活動の力

音楽活動では、リズムに合わせて体を動かすと同時に、音の響きや歌詞を感じることで、自然と考える力も刺激されます。楽しく体を動かしながら、心も頭も元気になる瞬間を感じています。



05



Use my brain

見て、  
聴いて、  
心で感じて

タブレットを通じて、利用者様が音楽や動画に触れる機会を設けました。映像や音による刺激が、集中力や感情の変化、言葉の反応など、思考や感覚に小さな動きを生み出しています。“見る・聴く”という日常の中に、自然な形で「頭を動かす支援」が入り込んでいます。

施設情報



障害者支援施設  
ハピネスさつま  
〒675-0301  
加古川市志方町大窪 847-35  
☎ 079-453-1177

HP・SNS



さつまHP



さつまインスタ